



中名田っ子

小浜市立中名田小学校
令和元年9月25日
9月号

2学期スタート

2学期がスタートしました。今年の夏は、前半は過ごしやすかったものの日を追うごとに35度を超える猛暑になりました。大変暑かった夏休みという印象の中、子どもたちは暑さなんか関係ないほど元気いっぱいそれぞれの夏休みを過ごしてきたことを、楽しそうに話をしてくれました。今年は、夏休みが8月29日で終わり、ちょっと早い2学期のスタートでしたが、大きなケガもなく、欠席0からの素晴らしいスタートを切ることが出来ました。2学期が始まってからは、体育大会の練習が続き熱中症の心配がありました。お家の協力で、たくさんの水分をお子さんにもたせてくださったお陰で大きく体調を崩すこともなく全員が体育大会に参加することが出来ました。ありがとうございました。また、夏休み中のプール当番、資源回収、そして9月1日の奉仕作業等、お忙しいところご協力いただきまして、ありがとうございました。2学期は1年の中で行事が大変多い学期です。寒暖の差が激しい日もあります。今後も、引き続きお子さんの体調管理をよろしくお願いたします。



奉仕作業では、大変お世話になりました。きれいな校舎になり、気持ちよく学習することができます。ありがとうございました。

挨拶の素晴らしさ

2学期の始業式で挨拶の素晴らしさについて話をしました。挨拶については、1学期の終業式でも話をしていますが、お子さんの挨拶はいかがでしょうか。決まった場所、決まった人には挨拶ができるが、状況が変わるとなかなか自分から挨拶ができない児童が増えています。例えば「朝」「玄関前」「児童玄関に立っている人」など、決まった状況では条件反射的に挨拶はできるのですが、登下校中に偶然出くわした地域の人や、突然学校に来られた人などには、残念ながら挨拶をしている児童は少ないのが現状です。

私の夏休み中のことですが、日本語も英語も伝わらない韓国の人と出会う機会がありました。言葉が通じないのでお互いの間に、冷たいような微妙な空気が流れました。しかし、 → 裏面に続く

ご意見・ご感想をお聞かせください。

〈キリトリセン〉

保護者の声 年 組 保護者氏名

この重々しい微妙な空気を変えたのが、「アンニョンハセヨ」(こんにちはの意味)でした。アンニョンハセヨと一言挨拶をただけで、心の中の緊張とお互いの間に流れていた空気が柔らかくなった気がしました。ふと、毎日使っている「おはようございます」「こんにちは」などの挨拶を思い浮かべてみると、挨拶をすることで、人間関係が良くなったり、心にぬくもりを感じたりすることが大変多いことに改めて気づきました。

学校では、今後も挨拶の良さや素晴らしさについて児童に話をしたり、道徳科で学んだりして、気持ちのよい挨拶ができる児童を育てていきますので、ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。



10月2日(水)陸上記録会に向けて全快!

9月の体育大会では、競技・応援・準備・後片付けなど、どの場面をとっても高学年の素晴らしさが目を引きました。時には、低学年の体調に気を配り、時には、「学校全体を引っ張るリーダーシップを発揮するなど素晴らしい姿を見ることができました。何事にも一生懸命取り組む姿は、陸上記録会の練習でも見ることができます。少人数ではありますが、みんなで声を掛け合い質の高い練習に取り組んでいます。特に、リレーは息のあったバトンパスで大会当日での活躍が期待されます。大会当日の活躍を期待しています。応援、よろしくお願いいたします。



読書の秋・・・ Reading autumn

暑かった夏も気づけば秋。秋は「読書の秋」と言われる季節ですが、どうして「読書の秋」と言われるのか気になって調べてみました。古代の中国では、秋の夜長を有意義にすごそうと、「灯火親しむべし」という言葉が広まったそうです。これは、秋は過ごしやすい季節なので、夜には灯りをともして読書をするのに最適という意味だそうです。また、人間が最も作業効率を上げやすい温度が18度～25度で秋がこの気温帯に当たり脳の活性化にいい季節だそうです。このような由来で読書の秋という言葉が広がったようです。調べてみて、この時期に本が読みたくなる理由が分かった気がしました。今、読んでいる本は『一切成り行き』樹木希林さんの本ですが、その中の一節に「人生なんて自分の思い描いた通りにならなくて当たり前」というものがあります。いつも人生上出来、物事がうまくいかないときは、自分が未熟だったのよ、それでおしまい。読んでいてすがすがしい気持ちになります。読書を通して、こんな考え方もあるのかと自分が知らない世界にちょっと触れることができた気がします。親子で秋の夜長に読書はいかかですか。

